

第80回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について (平成10年10月～平成11年1月)

1. 主な火山活動

岩 手 山：統一見解を発表（別紙）。

北海道駒ヶ岳：平成10年10月25日、昭和4年火口内の96年主火口から約2年7か月ぶりに噴火した（平成8年3月5日以来）。噴火直後の噴煙は火口上1200mに達したが、26日以降は300m以下で推移した。噴火に伴う火山性微動は約6分間観測され、火山性地震は噴火当日に7回観測されたが、その後ほぼ通常のレベルに減少した。降灰の調査・解析によると、新しいマグマの噴出を示す証拠は認められず、総噴出物量は数千トンと見積もられた。今回の噴火は前回より小規模な水蒸気爆発であった。

雌阿寒岳：平成10年11月9日、ボンマチネシリ96-1火口から約2年ぶりに噴火した（平成8年11月21日以来）。噴火直後の噴煙は雲のため不明であったが、その後は高いときで600～700m、通常は200～400mで推移した。噴煙量は噴火前より多い状態が続いている。噴火に伴う火山性微動は約4分間観測された。火山性地震は噴火前後とも少ない状態が続いた。降灰調査によると総噴出物量は約千トンと見積もられ、前回の約10分の1程度だった。また、降灰の解析ではマグマ水蒸気爆発の可能性も指摘された。

十 勝 岳：平成10年10月12日、62-2火口から黒灰色の有色噴煙を2回にわたって噴出した。また、62-2火口では、10月から11月にかけて高感度カメラにより火口周辺が夜間明るく見える現象が観測された。その後悪天により確認できなかったが、平成11年1月25日に再び観測された。この現象は、硫黄などの燃焼によるものと推定される。

地震回数は11月中旬以降増加している。

樽 前 山：平成11年1月13日に遠望観測で、ドーム南西火口（E火口）から約4年ぶりに噴気が認められた。その他火口の噴煙の状況に変化はない。地震回数は平成8年6月以降増加し断続的に増減を繰り返しているが、この期間は概ね日回数10回以下の低調なレベルで推移した。

薩摩硫黄島：地震回数は、平成10年10月下旬以降1日当たり60～100回程度で推移し、多い状態が続いている。10月や11月上旬には島内で降灰が確認されることがあった。平成11年1月23日から28日にかけて振幅の小さな火山性微動を観測した。24日に島内で降灰が確認されたが、表面現象に大きな変化はない。

2. 東北地方

栗 駒 山：平成11年1月8日、栗駒山の東約5kmでM3.7の地震があった。

鳴 子：平成10年12月21日、鳴子の北約5kmでM3.7の地震があった。

安達太良山：沼ノ平の泥噴出が続いている（平成8年6月以降）。平成10年10月の現地観測で、噴気孔の増加と噴気活動の活発化が観測された。また、全磁力観測の結果から、沼ノ平地下浅部での温度上昇が継続していることが推定される。平成11年1月18日に安達太良山直下でM2.0の地震があった。

3. 関東・中部地方

伊豆大島：地震活動や表面現象に特に変化はない。地殻変動観測によると、島の膨脹傾向が引き続き観測されている。

三 宅 島：地震活動や表面現象に特に変化はない。

4. 九州地方

鶴見岳：平成11年1月1日から3日にかけて、鶴見岳の西北西約10kmを震源とする地震活動（最大M3.7）があった。

九重山：地震回数は1日当たり20回以下で推移した。噴煙高度は概ね50～300mで推移したが、平成10年10月5，6，23日には800mに達した。11月に実施した機上観測および現地観測では、大きな変化はみられなかった。

阿蘇山：平成10年9月にやや不安定となっていた阿蘇中岳第一火口は、10月以降は比較的穏やかに経過した。火口底は全面湯だまりの状態が続き、南側火口壁下では引き続き噴湯現象が観測され、10月23日からは火口底中央よりやや北側でも時々噴湯現象を観測した。孤立型微動の月回数は11月にやや増加した。

雲仙岳：平成10年11月1日に傾斜変動を伴う火山性微動を観測した。12月14日に橘湾を震源とする有感地震（雲仙岳測候所で震度2）を観測した。

霧島山：平成10年10月10日から11日にかけて11回、1月18日に7回の低周波地震（深さ約7～18km）を観測した。

桜島：平成10年10月上旬に地震・微動がやや多く発生したが、中旬以降は少ない状態で推移した。11月14日から15日にかけて低周波地震（深さ約25～30km）を19回観測した。噴煙活動は10月上旬、11月上旬後半から中旬前半、11月下旬前半および平成11年1月中旬にやや活発となった。

諏訪之瀬島：平成10年10月23日、24日に諏訪之瀬島付近を震源とする地震があり（M2.6，M2.5）、島内で揺れを感じた。平成9年5月以降島内で確認されていなかった火山灰の噴出、降灰が、平成11年1月に入って確認された。